

令和5年度対話の広場(県西会場) 「かながわ西エリアの魅力をともに探す！」 いただいたご意見等への対応状況等

【対応区分】

- A: “対話の広場”をきっかけに、新規の計画・事業を検討する(対応する方向である)
 B: “対話の広場”をきっかけに、既存の計画・事業の見直し等を行う(対応する方向である)
 C: “対話の広場”開催時点にて、既の実施している(既に対応している)
 D: 特に対応を予定していない。

参加者No.	関係所属名	参加者からの主な意見等	対応区分	対応状況(R6.1.31時点)
5	県土整備局 河港課	酒匂川でも、ぜひ魚道をつけていただいて、魚が自由に上ったり下りたりできるようにしていただきたい。	C	魚道の整備等により、上下流や支川との連続性の確保を図れるよう、引き続き、努めてまいります。
6	環境農政局 農業振興課	若い者が安心して農業を継いでいける。そういうことを、行政も農民もそうですけど、一緒になって考えていく。そういう神奈川方式を、県知事にお願いしたい。	C	県農業技術センターでは、農家を継ぐ若者をはじめとした新規就農者への巡回指導や基本的な栽培技術の研修に加えて、経営発展に向けたビジョンの策定やその実現を目指すためのフォローアップなどの支援をしている。
8	環境農政局 水産課／ 教育局 高校教育課	神奈川県では、公立高校で定時制の高校には学食が設置されていると聞きましたが、全日制の高校にはあまりないと聞きましたが、若い人たちにも、県西の食事の、食材のよさを知らせるためには、やっぱり、学食を通したりして、若い人たちも簡単に知れるようにしたいので、県立高校の全日制的の高校にも、学食を通して若いもの達にも、大切な水産物を守るために海を守っていこうという動きをつくれたらいいなと思ってます。	C	県は学校給食等で県産水産物を利用しやすくするため、県内で獲れる魚を使った加工品の開発などに取り組んでいます。 また、学校給食等への県産水産物の供給については、神奈川県漁業協同組合連合会や地域の漁業協同組合等が行っています。
9	環境農政局 森林再生課、 水産課	全国の中高生や小学生を集めて、名人と呼ばれてる伝統とか林業の担い手、漁業の担い手さんのところに取材に行ってお話聞いて語り部のような感じで学んでいく。ぜひ神奈川とか、神奈川の市町でもそういう方法としてやっていただければ若い子にも周知できるし、産業の活性化に繋がるのではないかと思うので、ぜひ検討していただけたらと思います。	C	林業については、ご意見にありました「聞き書き甲子園」のような全国行事においても、過去に「森の名手・名人」に選定されるなど、県内に対象となる方はおられますが、高齢化が進み人数も限られています。そのため、現在具体的な対応予定はありませんが、今後も様々な手法を通じて、若い世代へ向けて林業の大切さの周知などに取り組んでまいります。 漁業については、県では中学生以上を対象に、漁業への就業を目的としたセミナーや研修を実施しており、そこでは、漁業者の体験談を聞いたり、漁船への乗船を体験ができます。また、民間団体(公益財団法人神奈川県栽培漁業協会と地域の漁協等)が連携し、小学生を対象に、マダイやヒラメの稚魚の放流や、地元の漁業者から漁業の話が聞けるイベントを実施しています。